

短期研修報告書

記入 | 2016年 9月

所属&学年 | 経済学部 2年生

留学先大学 (国名)	モナシュ大学 (オーストラリア)
短期研修のプログラム名	豪国の多文化環境におけるグローバル学習
留学した期間	8月6日~9月3日

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

将来は商社で働きたいと思っているため、英語力の向上や異文化との交流を学ぶために応募しました。特にこのプログラムでは企業訪問がいくつもあり、将来のことを考えることにも適していると思いました。特に語学対策はしませんでした。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

プレゼンテーションの方法や企業文化についてだけでなく、リーダーシップ教育など大学の通常授業ではなかなか教えてもらえないことがほとんどでした。授業は平日の9時~16時と長めです。だいたい15人前後のクラスで行われます。今年の前半2週間はマカオの学生と一緒に授業を受けられたので、たくさんの交流ができました。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

食生活は各ホストファミリーによって、大きく変わります。僕のホストファミリーはスリランカ出身の方で、アジア寄りの生活習慣だったので、すばやく適応できました。オーストラリアは空気が非常に乾燥しています。風邪気味になる生徒が多かったです。僕は出来るだけしっかり食べるようにして、体調管理を行っていました。(おかげで、少し太りましたが…)

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

身の危険を感じたことはありませんでしたが、他の生徒がスリの現場を目撃したそうです。深夜に外をうろつくことはやめておいた方がいいと思います。

5. 留学を終えて感じる事&留学を考えている学生へのメッセージ

正直なところ、英語力は自分の思っていたほど向上しませんでした。たかが1ヶ月です。英語がうまくしゃべられるようになるには一年間の長期留学が必要だと感じました。参加した多くの生徒がそう言っています。しかし、さほど1ヶ月です。この一か月間は今までの人生の中で最も充実した一か月間でした。一か月間で学べることの範囲をはるかに超える分の収穫があったと思います。それはあまりにも膨大にありすぎて、この場で全て説明することはできません。異文化との交流、新しいことへの挑戦、未知との遭遇、困難との直面、本当に多くのことを経験できました。この経験は将来への大切な礎となることは間違いありません。英語についても、何が足りないのか、何をすれば力を伸ばせるのかということはわかったので、この先の指針を得ることができました。そして、この経験は日本では決して手に入らないものです。留学に行ったことある人だけが獲得できるものです。もし、留学を考えているならば、絶対に行くことをお勧めします。

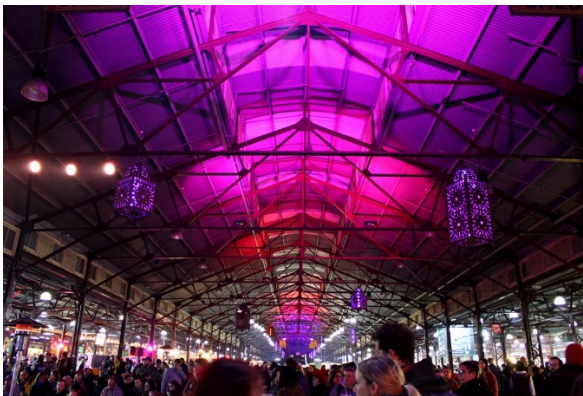
6. 研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	630,000 円	プログラムの費用です。
海外旅行保険		
授業料（教材費含）		
滞在費（寮費など）		
食費	100,000 円	基本的にホストファミリーが料理は準備してくれます。交通費は1ヶ月の定期券が140\$程です。週末のツアー参加費が大部分を占めます。
交通費		
その他（小遣い、通信費など）		
計	730,000 円	

自由記述欄 *現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓

Be active!! 授業後はシティを巡ったり、週末はツアーに参加したりと、積極的に遊びましよう！（笑）



短期研修報告書

記入 | 2016年 9月
所属&学年 | 工学部 2年生

留学先大学 (国名)	オーストラリア
短期研修のプログラム名	GPP 多文化環境におけるビジネス
留学した期間	28日間

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

海外で働くことに興味があった。工学部に所属しているために普段英語を使う機会があまりなく、英語力を伸ばしたいと思った。留学前に海外留学室で申し込みのできる週末講座をとって勉強はしたが、十分な準備を特にしたわけではなかった。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

授業は9時から4時までみっちり週五日間あり、宿題も結構な量が出たので初めはとても大変だった。ただ、スピーキング能力やリスニング能力は結構向上したと思う。授業はチームでの話し合いやプレゼンテーションがメインで、いやでも英語を話さなければいけない状況だったのでいい訓練になったと思う。また初めの二週間はマカオからの学生と一緒に授業を受け交流も深まったし、日本の他大学の生徒には学業的な面に留まらず良い刺激を受けた。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

ホームステイ先によって家庭環境がかなり異なるので臨機応変に対応することが重要だと思う。食生活が乱れることも多いので、自分で必要なものを買って食べるなども考えたほうが良いと思う。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

夜に出歩くときは友達と一緒に集団で行動することを意識した。家の周りはとても治安がよかったので心配はなかったが、シティ中心部は夜遅くにはあまり出歩かないほうが良いと思う。

5. 留学を終えて感じる事&留学を考えている学生へのメッセージ

1か月を振り返ってみるととても早く感じた。時間があるようで意外とないので、部屋に閉じこもらずに積極的に外に出てアクティブに行動するべきだと思う。僕は家にいたことがほとんどなく、休日、平日問わず基本的に観光ばかりだった。せっかくの留学なのでいろいろな経験をしないともったいないと思う。ただ、自分で足りないと思うことは気づいたらすぐに勉強して補わないと、楽しめるものも楽しめなくなってしまうので、メリハリはつけるべきだと感じた。

6. 研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
食費	5万円	外食が多かったため
交通費	2万円	
その他（小遣い、通信費など）	7万円	
計	14万円（プログラム費用は別途必要）	

自由記述欄 * 現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓

おすすめの場所

- ・ブライトンビーチ・・・シティキャンパスからそんなに遠くないビーチ。とってもきれい。
- ・メルボルン博物館の近くにあるイタリアン・・・店の奥さんがとってもいい人。イタリアに旅行にいったことのある友達が現地よりもぜんぜんおいしいといていたので味は本物です。しかも安い。
- ・ドックランズのプロムナード沿いにあるジェラード・・・本当におすすめです。僕は4回も学校帰りに食べに行きました。おすすめフレーバーはピスタチオとチョコレート。

短期研修報告書

記入 | 2016年 9月
所属 & 学年 | 経済学部 2年生

留学先大学 (国名)	オーストラリア
短期研修のプログラム名	Monash university global professionals programs
留学した期間	8月6日~9月4日

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

二年生の夏休み、今後の大学生活の方向性を決めるために何かすべきと思ったのがきっかけ。海外で働くことをテーマにしていることも今後の自分の職業を決めていくのに役立つだろうと考えた。語学対策としてはなるべく毎日リスニングをするなどしたがそれ以外は特にすることはなかった。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

内容はオーストラリアの文化、習慣など、授業は基本的に英語で行う。プログラムの後半に行くにつれてプレゼンやグループディスカッションなどよりビジネスを意識したものになる。初めは英語環境に慣れてないため戸惑うことも多いが、徐々に慣れて来て普通に受けられるようになる。学生同士は学校、国籍に関係なく休み時間など交流の機会がある。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

ホームステイ先の人たちは学生を受け入れるのに慣れていて、生活面では苦労しなかった。ただ文化の違いはあるのでそこは相手先に合わせる努力が必要。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

危険な目にあうことはなかったが、財布をカバンの外ポケットに入れない、トイレに行くときはカバンを持ち歩くなど意識はした。

5. 留学を終えて感じる事 & 留学を考えている学生へのメッセージ

特に英語があまりできない人は期間中に精神的に苦しいときが来ると思うが、自分なりの目標を立てていくことでめげずに最後までやりきることが出来ると思う。

6. 研修費用 (さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

内訳	おおよその額	備考
その他 (小遣い、通信費など)	12万円	

短期研修報告書

記入 | 2016年 9月
所属 & 学年 | 医学部 4年生

留学先大学 (国名)	オーストラリア
短期研修のプログラム名	GPP
留学した期間	2016年8月6日～9月4日

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

普通の学部の授業では触れることができない内容を学びたいと思い、このプログラムを選択しました。申し込み手続きについては、CIEEの方の説明に沿って行けば困ることはないと思います。英語の準備は、日常生活で使う英語のフレーズなどを軽く勉強して行きました。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

平日の9時から16時までしっかり授業がありました。内容は、オーストラリアの文化、異文化理解や自己分析、マーケティングの基本的な考え方など多岐にわたりました。一クラスあたり15人ほどで、一方的に授業を聞くのではなくグループワークやプレゼンなどが多く、双方向の活発な授業でした。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

ホームステイ先の生活は、とても快適だったので、日本と比較して特別に困ったことはありません。オーストラリアの家庭では常に土足なので、リラックスできるようなサンダルのようなはきものを持って行ってもよかったなと思いました。ホストファミリーにも日々の生活があるので、お互いに気を配って規則正しい生活ができたのはとてもよかったなと思っています。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

貴重品は常に小さな肩掛けバッグに入れ、自分の視界に入る場所に入れていました。治安の悪さは特には感じませんでした。夜8時を過ぎてくると電車の本数がかかり減るため、駅のホームで待っている時に少し怖く感じることもありました。

5. 留学を終えて感じる事 & 留学を考えている学生へのメッセージ

4年生のこのタイミングでプログラムに参加できてよかったな—と思っています。将来についてきちんと考え始めている今だからこそ、楽しめた内容も多かったのではないかなと思うからです。大学の普通の授業では扱われないスキルなどを楽しみながら、海外、他大学の学生とたくさんかわりながら学べるなかなかないチャンスなので、迷っている方はぜひ参加することをお勧めします。

6. 研修費用 (さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

内訳	おおよその額	備考
食費	30000円	ホームステイ以外での食費
交通費	7000円	4週間のトラム・バス・電車の定期券
その他 (小遣い、通信費など)	10000円	通信費。日本でスマートフォンを借り、Wifiルーターとしても使用しました。

短期研修報告書

記入 | 2016年 9月

所属 & 学年 | 情報文化学部 3年生

留学先大学 (国名)	モナシュ大学(オーストラリア)
短期研修のプログラム名	モナシュカレッジ GPP
留学した期間	4週間

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

自分は最初交換留学を意識していたのですが、なかなか英語力が伸びず、またわざわざ海外に行って何を勉強したいのか、何をしたいのかが明確ではありませんでした。そこで海外で勉強するとはどのようなものか、そして将来的に海外で働くことがどのようなものかを知るために当プログラムを申し込みました。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

基本的に平日の 9 時から 4 時まで、オーストラリアにおける多文化環境について学びました。また企業訪問をする機会もありました。授業ではグループワーク、プレゼンテーションを行う機会が多かったです。最終日には 2 週間ほどかけて準備をしてきたプレゼンテーションを行ったため、グループワークやプレゼンを行う上で必要な力はかなり身につくと思います。学生との交流に関しては、日本の他大学からの参加者だけでなく、前半の2週間でマカオの学生と同じプログラムを受けていたため、仲良くなる機会がありました。他にもモナシュ大学には日本について知ろうとするサークルがあり、日本語がある程度話せる現地の学生が多いため、現地の知り合いを作る機会も十分にあります。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

ホームステイ先で特に問題は発生しませんでした。住んでいた地区は非常に静かで治安も特に問題は無さそうでした。食生活に関しては家庭によって大きく異なるので合うかどうかは分かりません。健康管理に関しては、私は寒さと乾燥した空気からのど風邪をひいてしまいました。幸い保険に入っていたことと、日本人が働いている病院がシティにあったため、大きな問題は発生しませんでした。日本と大きく気候が異なるので日本から薬を持ってくることはもちろん、体を冷やさないように日頃から気を付けたほうがいいです。金銭管理に関しては、クレジットカードは持っていくべきです。また現地の ATM で引き出せるようにしておくことより安心だと思います。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

危険な目に合うことはありませんでしたが、カバンや財布の管理は気を付けたほうがいいと思います。治安に関しては特に問題はありませんでした。夜遅くになると人通りが少なくなるので、帰る際に友達と一緒に帰る方がより安全だと思います。

5. 留学を終えて感じること&留学を考えている学生へのメッセージ

人生で最も得たことが多い1か月でした。英語力だけでなく、自分の長所や短所を見直しそれらを向上させるいい機会になりました！留学をしたい思いがあってもなかなか一歩踏み出せない、と感じている方は多いと思います。ただ、迷っているなら思いっきり申しこんでみましょう！

6. 研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	円	} おおよそ 60 万
海外旅行保険	円	
授業料（教材費含）	円	
滞在費（寮費など）	円	
食費	円	
交通費	円	
その他（小遣い、通信費など）	10万円	
計		70万 円

自由記述欄 *現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓

休日は自由行動なので、遠くへツアーに出かける人もいれば、シティを散策する人もいました。どちらも非常に楽しいので出発前から行きたい場所を調べておくといいと思います！！



マカオの学生とグループワーク



グレートオーシャンロード！



一番お世話になる駅です



非常に海がきれいです

短期研修報告書

記入 | 2016年 9月
所属&学年 | 工学部 2年生

留学先大学（国名）	モナシュ大学（オーストラリア）
短期研修のプログラム名	GPP
留学した期間	2016年8月6日～2016年9月4日

1. 留学前の準備（応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など）

時間に余裕のある大学2年生の長期休みに一度は留学しておきたいという思いと、まだ将来どのように進むか決められていない自分が視野を広げるいい機会になるのではないかという思いから応募しました。

2. 研修内容や学校（内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など）

授業は4週間ずっと平日の9:00～16:00で、前半の2週間はマカオから来た留学生とともに、後半の2週間は日本人のみで受けました。マカオの学生とともに受けた授業では主にオーストラリアの文化や歴史を学んだり、自分の強みや弱みを見つけたり、現地の会社を訪問してオーストラリアの職場の様子を見せてもらったりなどをしました。後半は最後の日に行う日本の商品をオーストラリアに売り込むというプレゼンのための準備がほとんどでした。プログラム内でのプレゼンやディスカッションの頻度がとても高かったため、よい経験になったと感じています。マカオの学生はとても優しく、短い期間でしたが仲良くなるのが出来てよかったです。

3. 生活（住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど）

メルボルンでは水が貴重であり、ホストファミリーにも初日にお風呂の注意を受けていたため水の使いすぎには気をつけました。とても優しい方達だったので、他には特に気にしたことはありません。ただ、一度18:40頃に連絡をいれ忘れて帰ったときに遅いと少し注意されたので、日本とは時間の感覚が違うという意識を持った方がいいと思います。食事もしっかり三食用意してくれたので、食べ物に関しても何も困ることなく過ごせました。ATMが町の至る所にあるので、現金が引き出せないかもしれないから多めに用意しておこう、と思う必要はないです。プログラム中に体調を崩してしまう人が多かったので、飲み慣れた薬やのど飴などを持って行くことをおすすめします。

4. 危機管理（身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど）

オーストラリアの人は帰宅が早いため、夜8時頃にはもう電車に乗っている人が少なくすし怖かったです。幸いにも留学中に危ない目にあつたことはなかったですが、大事なものは常にひとつにまとめて持ち歩くようにしていました。

5. 留学を終えて感じること&留学を考えている学生へのメッセージ

1ヶ月、あっという間でしたがとても貴重な体験が出来ました。先生方もとても優しく、またこのプログラムに参加しなければ会えなかつたらう人達に会い、話を聞いたことがとても刺激になりました。日本の他大学の友達と学べたこともよかったと思っています。もう少しSpeaking力をつけていけば、もっと学べるものがたくさんあったかもしれないという後悔もありますが、今少しでもプログラムに興味を持っている人は、ぜひ参加してみたいです。

6. 研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	円	合計で 650000 円ぐらいでした。
海外旅行保険	円	
授業料（教材費含）	円	
滞在費（寮費など）	円	
食費	円	
交通費	円	
その他（小遣い、通信費など）	1 0 0 0 0 0 円	
計	7 5 0 0 0 0	円

自由記述欄 * 現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓

↓授業風景



↓ブライトンビーチ



短期研修報告書

記入 | 2016年 9月
所属 & 学年 | 工学部 2年生

留学先大学 (国名)	モナシュ大学 (オーストラリア)
短期研修のプログラム名	GPP
留学した期間	一か月

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

日本のプログラマやエンジニアは非常に水準や需要が高いにもかかわらず、特に給与や待遇の点で正当な評価を受けていない一方で、日本よりも少し遅れるヨーロッパ諸国や、それ以上の水準のアメリカやオーストラリアではプログラマやエンジニアは正当な報酬や待遇を受けているため日本以外で働くなら何が必要かを少しでも感じてこようというのが当初の目的でした。申し込みを決めたのは締め切り一週間前だった気がします。語学基準はぎりぎり下で参加できないかと思いましたが何とか参加できました。語学対策としてはリスニングを毎日して、夏休み前からはしゃべる練習をしましたが会話がちゃんと成立するようになったのはメルボルンに到着してからでした。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

到着した日には学校へいく予定がなく、ホストファミリーと自己紹介や遊びをして仲を深めました。次の日から朝九時から夕四時まで授業がありました。授業は昼休憩と小休憩を挟んでの3時間*2と書いていましたが、実際には1.5時間*2+昼休憩+1.5時間*2でした。久しぶりに毎日フルでグループワークも多い授業がある上に、放課後は冬なので日が暮れてあまり遊べないし家に帰れば宿題がかなりある日もあったので高校生みたいな生活だなと思ってました。でも高校生に戻った様な気分を味わうこともできました。

初日の午前中と3週間目からは日本人クラスでしたが、それ以外はマカオのマカオ理工学院大学の学生と共に授業を受けました。ほぼ初めからマカオの学生との作業があるので初めから大変でした。特に最初はやらなければいけないことがたくさん出てきて、英語も話して、大変でしたがマカオ学生との交流は超楽しいです。あと彼らはかなり英語うまいです。ペラペラしゃべります。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

メルボルンで住まわせてもらった家は鉄道線の最終駅で、学校まで1時間ほどの家でした。自宅⇄バス停⇄鉄道駅⇄Flinders 駅⇄City campus という道だったのですが自宅の前に鉄道駅まで5分で行くバス停があり、一方で自宅から鉄道駅まで歩いて20分で行くことができるので晴れの日にはメルボルン郊外の景色を見て歩いて、雨の日や急いでいる日はバスを使いました。電車の中ではよくいろいろな人に話しかけられるので楽しかったです。緊張はしますが会話が成り立つだけで楽しいです。

ホストファミリーの構成は80歳の老夫婦2人とワンチャン一匹でした。食事は3食作ってもらえました。朝ご飯は毎回ポリッジなる大麦のおかゆみみたいな食べ物の上に果物を乗せたもの、ベーコン&エッグを食べました。ポリッジがおいしかったので日本に持ち帰って食べています。昼ごはんはサンドイッチでした。

健康管理については、ぼくは健康そのものですが何人か風邪をひいている人がいたのでちゃんと体温調節できるように服をいろいろ持って行ったほうがいいと思いました。

金銭管理については家になるべくお金を置いておいて、財布には大金も入れるような日はありませんでした。持って行ってよかったと思うものはあまりありませんでした。というのは何でもスーパーなどのお店で何でも売っているので困ることはなかったからです。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

初日にホストマザーにメルボルン市内での危険な場所を聞いておいたのでそこへは行かないようにした。King St は危ないらしいです。毎日言われました。荷物の盗難はありませんでしたが、ほかの留学生に聞いてみると電車やバスの中でさえも直接モノを取られるようなこともあったようなので注意は常に払っておくべきだと思いました。危険を感じるようなことは特にはありませんでしたが、夜の街ではにぎやかなところでも汚い言葉を使う人が多かったので出歩く際には気を付けるべきだと思いました。

5. 留学を終えて感じること&留学を考えている学生へのメッセージ

迷うぐらいなら行くべきです。僕がこのプログラムに参加して得たことはたくさんありましたが、周りの環境がガラッと変化することで本当の自分は何だとかを気づくことができたり、メルボルンに住む様々な国からの移民の人々が共生している姿や文化からいかに自分の偏見がすごいかわかりました。日本人はいろいろなことを気にしすぎな気がしました。英語力はあんまり変わりません。買ってきて一週間でリスニング以外ほぼ元に戻った気がします。名古屋大学だけにいると自分の学部以外の人とかかわる機会が限定されてしまいますが、参加しなければ絶対につ接点のなかった日本の各大学、学部、マカオ、メルボルンで友達が増えるのでそれはよかったです。

6. 研修費用 (さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

内訳	おおよその額	備考
海外旅行保険	25000 円	
交通費	\$120	MykiPass という交通機関定期券があり 1 月分の値段

自由記述欄 * 現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓

スポーツ観戦によく行ったがラグビーが一番普通に楽しかった。あとそこで写真を撮るとお願した家族と仲良くなったりした。

テニスが好きだったので全豪オープン会場見学ツアーに行ってきた。選手の歩く道を通ったりセンターコートに入ったり選手控室や会見席に座ったりして感動した。

学校の施設はとても充実していた。できるならずっとここで勉強したいなと思うぐらいのものだった。コーヒー飲み放題、ネット回線も充実、コピーし放題、屋外にソファがある、本当に良かった。

会社訪問は興味のあるソフトウェアの会社に行くことができたが、ほかの人はあまり好きなくところに行けていないようだったので運によるなあという感じだった。

前半はマカオ学生もいたので英語をしゃべる必要に駆られたので頑張ったけど後半は日本人だけになってやる気を失いかけてたりした。ありがとうマカオ学生。

英語力は最初に一週間で「メルボルン滞在中ではあまり伸びない」ということを確信したので今ある力だけでなんとか頑張った。帰ってからが勝負と考えて、よく喋ることができる人や先生にどうすべきかをたくさん聞いて、帰国後は毎日二時間ほど英語に触れる時間を確保している。

Monash 大学のメンターととても仲良くしてもらった。学部学科がおなじ電気電子あるいは情報系の学生だったのでしどろもどろながらも僕は英語で、相手は日本語で趣味の話から僕のやっているプログラミングの問題を一緒に解いたりして正直今の名大の学部ではできない経験ができたので非常に刺激になった。またメルボルンの学生は、図書館がいっぱいになるぐらい、みんなが勉強していて日本との違いを感じた。

参加した日本学生とも仲が良くなった。大学内外にかかわらず連絡が続いている人もいて、狭いコミュニティに属している僕にとっては非常に嬉しい。

いろいろな食べ物に興味があったのでスーパーで毎日違う食べ物をおやつやおつまみ用を買った。変な味のものもあったが基本楽しめた。また市内の料理店もかなりいろいろな種類のお店があり、インド、日本、韓国、中国、インドネシア、イギリス、フランス、ベトナム、、、と様々な国の食べ物も食べる事ができた。



短期研修報告書

記入 | 2016年 9月
所属 & 学年 | 法学部 1年生

留学先大学 (国名)	モナシュ大学 (オーストラリア)
短期研修のプログラム名	GPP (豪国の多文化環境でのグローバル学習・海外研修)
留学した期間	1ヶ月

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

応募のきっかけは一年のこの時期だからこそ留学で自分の力のなさを実感するため大きな理由である。自分の能力を過信した状態で授業を受け続けることを避けようと考えていた。手続きはとて大変だった。留学する前に手続きで疲れてしまう。特に届け出は早めにやっておくことをおすすめする。語学対策は名古屋大学の英語の週末講座を受けた。ただこれだけでは不十分なので参加したい人は開放科目の英語授業もとるべきだと思う。そのぐらい厳しかった。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

モナシュの研修はとてハードである。9時から4時まで研修で前半はプレゼンや発表が毎日ある。小人数のクラスで発表は自由。クラスでの授業とは真逆であり発言しやすい環境である。正直な話レベルはとて高く最初はついて行けるか心配であった。ただマカオの学生や他大の学生はとて優しい方ばかりだったのでついて行きました。基本英語での交流がメインだが日本語や中国語を教え合ったりすることも時々あった。基本フレンドリーな人たちがばかりなので会話してお手とて楽しかったです。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

私のところは市場や市内に近くかなり恵まれた場所にいた。町は閑静な住宅街だが近くには賑やかな町や市場がある二つの面を持った場所だった。食生活は朝にトースト、昼にサンドイッチ、夜にホームステイの方の料理という感じである。夜は一品料理が多く日本と同じではない。健康管理だが一週目に風邪を引かないかが重要である。特に朝、夕が寒い。コート一枚あると重宝する。金銭管理においてだが、お金はとにかく必要な分だけ持ち歩いた。不要分はスーツケースに入れ鍵をかけた。持参してよかった物はない。後悔した物はたくさんあって一眼レフ、コートである。オーストラリアは自然美しく、町も芸術的でデジカメでなく一眼レフでとるべきだった。重いかもしれないが持つて行くべきである。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

財布は盗まれないようにリュックではなく小さいバックに入れた。危険を感じたことは一度もない。外国であることを忘れてはいけないのも事実だがそんなに危ない国でもない。スリに気をつけ、財布とスマホの管理さえしっかりすれば基本何事もなく研修を終えられる。

5. 留学を終えて感じること & 留学を考えている学生へのメッセージ

メルボルンの人たちは思った以上に温かく道を聞いても丁寧に教えてくれた。また多文化環境で英語以外にも中国語やその他言語が聞こえてきた。私のいた中でメルボルンのナイトマーケット以外では日本語は聞こえてこなかった。これから留学する学生に対するメッセージとしては過去に同じプログラムに参加した人とコンタクトをとろうということである。ネットや先生では聞けないことも参加したばかりの学生なら伝えられるということがある。少々難しいがこれによりイメージがそして準備が相当楽になるはずである。

6. 研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	0円（初期費用）	最初に払ってしまったので不明。
海外旅行保険	14000円（初期費用）	死亡時の金額で変わる。今回は豪国で比較的安全なところなので死亡保険は重視しなかった。
授業料（教材費含）	0円（初期費用）	不明。
滞在費（寮費など）	0円（初期費用）	不明。
食費	5000~7000円+初期費用	そんなに外食はしなかったのですがお別れ会のような物や飲み会に参加しようと思えば2万円はいると思う。そしてここまでの5つだが最初に払う費用に含まれていて65万円くらいである。
交通費	18000円	Myki pass の存在に気づくのが遅れてこの結果だが本当は1万円ちょっとで抑えられたと思う。
その他（小遣い、通信費など）	73000円	市内観光メインでお土産もあまり買わなかったがこの値段になった。たぶん7万円では十分ではないと思う。又 Wi-Fi を3万円で借りた。
計		98000円

自由記述欄 *現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓

私はあまり遊ぶタイプではないのでこの金額になった。グレートオーシャンバリアリーフ、タスマニア島に行くならもっとかかる。さらにあまりお土産も買わなかったのであまり小遣いの値段はあてにならない。私は10万円を現金で10万円をクレジットカードで持って行った。現金は日本で全部変える必要はない。3万円分豪ドルであとは日本円という感じでいい。なぜなら両替の場所は充実していたからである。最後にだが中途半端な考え方でいくとついて行けない。夏の研修は本当に厳しいので相当な覚悟を持って参加すべきだ。ちなみに私は1週目で本当に心を折られた。泣きかけてもおかしくない。ただモナシユの教員の方々は悪い評価をつけてもフィードバックを与えることで成績を上げ、そしてよりよい物を作るかの方法を提示してくれる。まじめに聞けば確実に成長できる。私もそれで成長できた。よって自分の可能性を広げようと本気で考えるならとても有意義な物となる。写真は1枚目と2枚目はメルボルン動物園にて、3枚目は研修中の写真である。



短期研修報告書

記入 | 2016年 9月
所属&学年 | 工学部 2年生

留学先大学 (国名)	オーストラリア
短期研修のプログラム名	豪国の多文化環境におけるグローバル学習
留学した期間	2016/8/6~2016/9/4

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

留学をしたいと入学時から思っていたのですが、自身初の留学で自分で申し込むのが少し不安だったので名大のプログラムを使おうと思いました。対策は申し込んでから日常英会話の本を買って読んだ程度です。後に書きますが非常に後悔しました。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

内容はマーケティングをするうえで重要なことを、グループワークをしたりプレゼンをしたりして理解するという感じがほとんどでした。大学の講義と違い発言を求められることが多いので自分の意見をある程度伝えられるくらいの英語力があると順調に進んでいきます。ただ僕は全然言うことができなかったので、留学前の時間があるときに自分の意見を言うことができるようにしておけばと後悔しています。周りの人は帰国子女だったり ESS に所属していたりして自分の無力さを痛感した一か月でした。他大学の生徒とはすんなりと仲良くなることができましたが放課はほぼ日本語でした。マカオの生徒と2週間でしたが交流できたことは非常に大きかったです。彼らもまた英語がしゃべれて、授業中の発言率も日本人より高く意識が高い人ばかりでした。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

ホームステイでしたが、週に一回しか選択をしてもらえなかったです。下着類は9日分くらいあるといいなと思いました。ただ足りなかったらすぐにも買えるのでスーツケースの空き容量と相談してください。スーツケースは息の準備の時には少し空いてるくらい荷物の量にしておくといいです。帰りはお土産等ですぐにパンパンになります。現金は現地でも変えられるし手数料も安いです。クレジットカードがどこでも使えるのでクレカメインで行く人は500ドルも変える必要はないと思います。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

僕のホームステイ先は駅から遠かったのですが、夜帰るときは暗い道で街灯が少なかったため女の子は特に注意した方がいいです。僕は昼夜問わず現地人と同じようなスタイルでいることを心がけました。下手に地図とか広げると留学生だとすぐに分かってしまうと思ったので。ただこれが正しかったのかわかりません。

5. 留学を終えて感じる事 & 留学を考えている学生へのメッセージ

他学部、他大学の生徒と仲良くなる機会があるのは素晴らしいです。興味を持っている分野がそれぞれ異なるので視野が本当に広がります。ただこのプログラムに参加したいと考えているのならぜひ申し込んでからでも遅くないと

思うので自分の意見をいえるように準備してください。自分は本当に苦勞したし何しに來たんだろうと落胆しました。ビジネスにさほど興味の無い人でも楽しめるし勉強になるし興味の幅が広がると思うのでぜひ検討してみてください。

6. 研修費用 (さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	600,000 円	
海外旅行保険	円	
授業料 (教材費含)	円	
滞在費 (寮費など)	円	
食費	円	
交通費	10,000 円	大学から自宅までの定期券代
その他 (小遣い、通信費など)	150,000 円	SIM フリー携帯の人は一か月 60 ドルで電話もネットも満足に使えるレンタルとかよりも圧倒的に安いです。
計	760,000	円

短期研修報告書

記入 | 2016年 9月
所属&学年 | 工学部 2年生

留学先大学 (国名)	オーストラリア
短期研修のプログラム名	豪国の多文化環境におけるグローバル学習
留学した期間	約一か月間

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

留学のきっかけは親からの勧めでした。一年生の時から両親に留学を勧められていたものの、まだ一年生だしいいやと思って先延ばしにしていました。しかし、留学を体験した人の話を聞くうちに興味が湧いてきて留学を決意しました。申し込み手続に関しては特に困ったことはなかったです。肝心の語学対策についてですがどれだけやっても足りないほどだと思いました。留学直前まで会話に使われる表現などを学習するといいいと思います。やればやるほど留学がより有意義になると思います。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

授業内容は思っていたよりもしっかりしていて、名古屋大学で受ける授業よりもよく考えられていたと思います。先生方は教養深く、ユーモアを交えて授業を繰り広げてくれました。初めの2週間はマカオからの学生と共に授業を受けていましたが、他国の生徒と交流することは非常に刺激的で留学期間中ずっと一緒に学ぶことができたらいのにと思いました。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

住環境はホームステイ先により大きく変わると思いますが、一緒に行った日本人学生20人ほどの中で住環境が悪いという人はいなかったんじゃないかと思います。持参してよかったのは保湿クリームです。メルボルンは乾燥していたのであると便利だと思います。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

留学に行くからと言って必要以上に神経質になる必要はないと思うし、現に危険を感じたことは一度もありませんでした。貴重品はお尻のポケットに入れないとか、テーブルに置きっぱなしにしないとかそういったことに気を付けていれば大丈夫だと思います。

5. 留学を終えて感じること&留学を考えている学生へのメッセージ

このメルボルンでの短期留学プログラムは特に海外経験のない人たちにお勧めしたいです。僕はこの留学に行くまで一度も海外へ行ったことがありませんでした。留学前はとても不安でしたが、案外なんとかなるものです。留学を決めかめている人は、とりあえず行ってみるかぐらいで考えましょう。必ずいい経験になることと思います。

6. 研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	189230 円	
海外旅行保険	28420 円	
授業料（教材費含）	389222 円	滞在費も含まれる
食費	120000 円	現地で使ったお金(食費、交通費、その他)
計		720000 円